

[発行]

公立大学法人

北九州市立大学 地域戦略研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

Tel: 093-964-4302

Fax: 093-964-4300

chiikiken@kitakyu-u.ac.jp

<http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/>

平成 30 年度

「関門地域共同研究会 成果報告会」を開催

北九州市立大学地域戦略研究所と下関市立大学附属地域共創センターで構成する「関門地域共同研究会」は、平成 6 年度から関門地域に関する様々な調査研究に取り組み、毎年、広く地域に向けた成果報告会を開催しています。平成 30 年度の報告会は、約 50 人が参加し、7 月 13 日(金) 14:00～16:45 に海峡メッセ下関で開催しました。

昨年度(平成 29 年度)に取り組んだ「人口減少」及び「子どもの貧困」の 2 分野をテーマに、本研究所兼任所員の松永裕己教授、坂本毅啓准教授らが研究報告を行いました。また、シンポジウム「健康長寿と食生活のあり方」を開催し、本学経済学部 of 学生も登壇し、ディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子

北九州市地方創生シンポジウムが開催

北九州市主催「地方創生シンポジウム 人口問題に向き合い、わがまちの未来を考える～」が 2018 年 8 月にリーガロイヤルホテル小倉(小倉北区)で 2 回にわたり開催されました。8 月 1 日(水)の第 1 回では本研究所の内田晃副所長、8 月 7 日(火)の第 2 回では南博教授が人口問題に関する約 30 分間の調査研究報告を行いました。各回とも地域企業の方から学生まで、幅広い層の約 350 人の参加がありました。

また、本研究所の柳井雅人所長は、ディスカッションのパネルとして参加し、市長及び企業の関係者と、北九州地域の人口や仕事に関して、大学としての取り組みを紹介するなど有益な討論も交わしました。



内田晃副所長の報告の様子



南博教授の報告の様子



パネルディスカッションの様子

北九州市・仁川広域市姉妹都市締結30周年

韓国・仁川研究院との共同研究発表会が 仁川市役所で開催

北九州市立大学地域戦略研究所では、2006(平成18)年に締結された韓国・仁川広域市の仁川研究院との友好交流協定に基づき、毎年国際交流・共同研究発表会を相互開催しており、2018(平成30)年度は9月18日午後2時30分から韓国・仁川広域市での開催となりました。今年で第11回目の共同研究発表会であり、<仁川と北九州の都市再生と雇用政策の最新動向と課題>というテーマで、双方の4人の研究者の研究報告がありました。



【地域戦略研究所】

- ・“城跡および城下町を活かしたまちづくりに関する考察”
(小林敏樹 北九州市立大学地域戦略研究所准教授)
- ・“北九州市の人材流入政策及び将来”
(柳永珍 北九州市立大学地域戦略研究所特任講師)

【仁川研究院】

- ・“文化的都市再生の類型と事例”
(チェ・ヨンファ 仁川研究院都市経営研究室研究委員)
- ・“仁川広域市地域雇用政策の役割と改善課題”
(チェ・テリム 仁川研究院地域経済研究室研究委員)



当研究所副所長内田晃教授 仁川市長表彰受賞

特に、今年には北九州市・仁川広域市の姉妹都市締結30周年になる年であります。仁川広域市は交流30周年を記念する意味で、当研究所の内田晃教授の研究交流の功労を称賛する表彰式を行いました。現地のメディアである「畿湖日報」は、2018年9月19日、第17面「仁川-北九州相生テーマを決めて共同研究復活提案」という記事を通じて、内田教授の受賞と受賞所感を含めたインタビュー内容を取り上げ、長く続いている両地域の交流関係と内田教授の役割を評価しました。



カンボジア・プノンペンより研修生を招いて、 工場で働くための基礎講座を開催しました [吉村英俊教授]

カンボジアの主要産業は、縫製業や靴製造などの労働集約型産業であり、多くの住民は専門技術を必要としない組立作業や機械を使った単純作業などに従事し、低賃金労働を余儀なくされています。住民の生活を豊かにするためには、裾野産業を育成し、産業の高度化や多様化を図る必要があります。そのためには、製造現場のワーカーの技能を高めるとともに、生産ラインの管理や改善ができる現場管理者を早急に育成しなければなりません。

こういった中であって、工場で働く従業員の多くは、時間や規律の遵守、チームワークなど、組織で働くための基本ができていなかったり、工場や生産のことを知らないまま働いているため、コスト削減や納期遵守などに対して改善意欲が希薄であるといわれています。人材育成機関をみると、テクニシャンの育成を担っている職業訓練大学では、自動車や空調機器の修理の授業が主流であり、また技能工を育成する工業高校においては、現在整備している段階であるなど、必要とされる人材育成の環境が整備されているとはいえません。

そこで本学では、JICA草の根事業を活用して、組織で働くための基本であるソフトスキルと、品質管理や生産管理などのものづくりの基本を教える仕組みを、プノンペンの職業訓練大学と工業高校で構築しています(プロジェクト実施期間:2017.10～2020.12(予定))。

8月20日(月)～8月31日(金)の間、これら学校の教員と所管する省庁の職員(計7名)を本学に招いて、研修「工場で働くための基礎講座」を開催しました。

研修生からは、「今回学んだすべての科目が重要であり、学生は興味を持つと思う」、「企業に勤める前の知識として有益である」、「全国の職業訓練大学(39校)、工業高校(13校)に普及させたい」など、好意的な意見をいただきました。また午後の視察も「座学の理解が深まる」と大変好評で、みなさん食い入るように見ていました。なお、休日にはギラヴァンツの観戦に行ったり、日本食を毎晩味わうなど、日本の文化や生活を体験され、すっかり北九州ファンになっていました。

9月14日からは、われわれが現地に行って、テキストや指導マニュアルを作成するための支援・指導を行っています。これらの学校での12月の開講に向けて、先生方は意欲的に取り組んでいます。またカンボジア政府も、外資導入に人材は欠かせないことから、当事業を期待しています。

		午前(授業科目)		午後(視察先)	
20日(月)	—	開校式 ①研修の目的		市長表敬	市内視察 (小倉城など)
21日(火)	ソフトスキル	②働く意義 ③企業活動と組織		トヨタ自動車九州	
22日(水)		④働く基本 ⑤仕事の進め方-基本編-		九州職業能力開発大学校	
23日(木)		⑤仕事の進め方-応用編- ⑥問題解決		戸畑ターレット工作所 サンアクアTOTO	
24日(金)		⑦チームワーク ⑧日本の文化・習慣		八幡工業高等学校	
25日(土)	—	ギラヴァンツ・サッカー観戦			
26日(日)	—	いのちのたび博物館など			
27日(月)	ものづくりの基本	①ものづくりの環境 ②生産活動の基本		安川電機 イノベーションギャラリー	
28日(火)		③生産管理 ④品質管理		TOTOアクアテクノ TOTOプラテクノ	
29日(水)		⑤原価管理 ⑥5S		北九州学術研究都市	
30日(金)		⑦クリーナープロダクション ⑧技術者倫理		エコタウン(自動車・OA機器)	
31日(土)	—	アクションプラン	学長表敬	反省会	修了式



地域戦略研究所及び所属教員の最近の主な活動記録

【2018年7月～9月】

■地域課題に関する研究、共同研究、受託研究での調査等（抜粋）

- 平成30年度関門地域共同研究会成果報告会(7/13、海峡メッセ下関)
- 平成30年度第2回関門地域共同研究会運営委員会(7/13)
- 欧州自転車のあるまちづくり調査(8/2～11:オランダ、ドイツ、デンマーク)[内田]
- JICA 受託事業「カンボジア・プノンペン都の産業人材育成体制の構築」において、受入研修のフォローアップと今後の進め方を協議(9/13～26)[吉村]

■講演等

- 年長者大学校穴生学舎「ベトナム事情」(7月18日)[吉村]
- 北九州商工会議所八幡・若松・戸畑地区議員会(7/30:大谷会館)[内田]
- 北九州市 地方創生シンポジウム第2回「まち・ひと ～まちの魅力とまちへの愛着～」での報告「北九州市の人口動態の現状と住みたいまちの条件」(8/7)[南]
- 田川飛翔塾(8/16:福岡県立大学)[内田]
- 平成30年度北九州市立大学公開講座関門海峡から見た日韓文化比較第2回「記憶という概念からみる日韓関係-釜山を中心に-」(9/22)[柳]

■国・地方自治体・経済界等の各種審議会・委員会（開催された主なものを抜粋）

- 北九州市上下水道事業検討会(座長)[柳井]
- 国土交通省九州地方整備局遠賀川学識者懇談会[柳井]
- 北九州市都市計画審議会(委員)[内田]
- 直方市都市再生協議会(会長)[内田]
- 芦屋町港地域公共交通会議(委員)[内田]
- 築上町地域公共交通会議(会長)[内田]
- 北九州市災害時の避難に関する検討会(座長)[南]
- 直方市行政改革推進委員会(会長)[南]
- 北九州市都市計画審議会座長(座長)[柳井]
- 北部九州圏都市交通計画協議会専門部会(副委員長)[内田]
- 北九州市特定空家等対策審査会(委員)[内田]
- 中間市地域公共交通会議(委員)[内田]
- 芦屋港活性化委員会(委員長)[内田]
- 苅田町都市計画マスタープラン研究会(委員長)[片岡]
- 宗像市総合計画等推進委員会(委員長)[南]
- 福岡県行政改革審議会(委員)[南]

■報道

- 西日本新聞、2018年7月18日、北九州面「夢託すスワ跡 私の意見<4> 連携して広域集客を 北九州市立大学教授 南博さん」[南]
- 『東経情報 九州版』No.10330、「平成30年度 北九州市立大学授業 「地域のにぎわいづくり」授業、2018年7月18日号、p.3」[南]
- 西日本新聞、2018年7月20日、北九州面「大学生が集客プラン 北九大で発表会」[南]
- NHK北九州、2018年8月1日、ニュースブリッジ北九州(18:10～19:00)「コレット閉店発表 広がる波紋」[南]
- FBS福岡放送、2018年8月1日、NEWSめんたいPlus(18:15～19:00)「井筒屋コレット・黒崎店閉店へどうなる？北九州市の都心と副都心」[南]
- 毎日新聞、2018年5月29日、北九州面「ミクスタ来場「満足」62% 北九大・南教授 市民アンケート」[南]
- FM KITAQ、2018年8月3日、「FORZA KITAQ」(17:00～18:00)[南]
- 西日本新聞、2018年8月8日、北九州面「北九州の魅力 高め方を議論 地方創生シンポ」[南]
- Orkb 毎日放送、2018年8月8日、今日感ニュース(18:15～19:00)「コレット・井筒屋黒崎閉店へ 広がる波紋」[南]
- NHK北九州、2018年8月23日、「ニュース845北九州」(20:45～21:00)「避難情報の出し方 見直した内容で対応継続へ」[南]
- J:COM 北九州、2018年8月24日、「デイリーニュース北九州」(17:00～17:30)「万が一の災害に備えて」[南]
- 毎日新聞、2018年8月24日、北九州面「災害時避難で意見交換 専門家集い検討会」[南]
- 読売新聞、2018年8月24日、北九州面「避難情報の伝達 議論 北九州市検討会が初会合」[南]
- 韓国畿湖日報、2018年9月19日、第17面「仁川-北九州相生テーマを決めて共同研究復活提案」[内田]